

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|---------------|
| 事業所番号 | 2372101481 |
| 事業所名 | グループホーム岡崎若松の家 |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-------|---|----|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） | 評価 |
| | 地区総代の声かけで子供会が来て『よさこい踊り』を披露し、お祭りにはお神輿が来て利用者を楽しませてくれた。 地域行事の『草刈り』や『救急救命講習』等に参加し、積極的に双方向の交流を推進している。 | ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） | 評価 |
| | 運営推進会議は、出席メンバーや開催回数等の軽減要件を満たし、活発な意見交換が成されている。 今年度より介護相談員も会議に参加し、他施設の話や利用者の思いなど違った面からの話が出ている。 | ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） | 評価 |
| | 運営推進会議への地域包括支援センター職員・介護相談員の参加、介護相談員の受け入れ等により、行政はホームの状況を十分に把握している。 市主催の研修会に参加し、お互いに馴染みの関係が出来ている。 | ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） | 評価 |
| | 運営推進会議の出席時や面会時に、家族の意見・要望の出やすい関係を築いている。 前回調査時の家族アンケートで『分からない』の回答が多かった事を受け、目標達成計画に取り上げて取り組み、今年度は『分からない』の回答が激減した。 | ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 総合評価 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| | (例示) |
| 2. 事業所と地域のつきあい | ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取り組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。